

ありし日の 江若鉄道

— 大津・湖西をむすぶ鉄路(みち) —



白鷺駅にて 昭和44年 福田静三氏撮影

2006年

7月28日(金)~9月3日(日)

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2番2号 電話077-521-2100

ホームページアドレス www.rekihaku.otsu.shiga.jp



江若鉄道車内 昭和44年 福田静二氏撮影

■関連行事■

8月26日(土) 13:30~16:00

8月27日(日) 10:00~16:00 「鉄道模型走行会」 滋賀鉄道模型愛好会 (STMC)

※申込不要・無料

9月2日(土) 13:30~15:00 関連講座 「湖西の鉄道のあゆみ」 木津勝 (本館学芸員)

※事前申込要・有料 (詳細は当館までお問い合わせください)

■開館時間 / 午前9時~午後5時 (入室は午後4時30分まで)

■休館日 / 月曜日

■観覧料 / 一般: 500円 (400円)

高大生: 400円 (320円)

小中生: 200円 (160円)

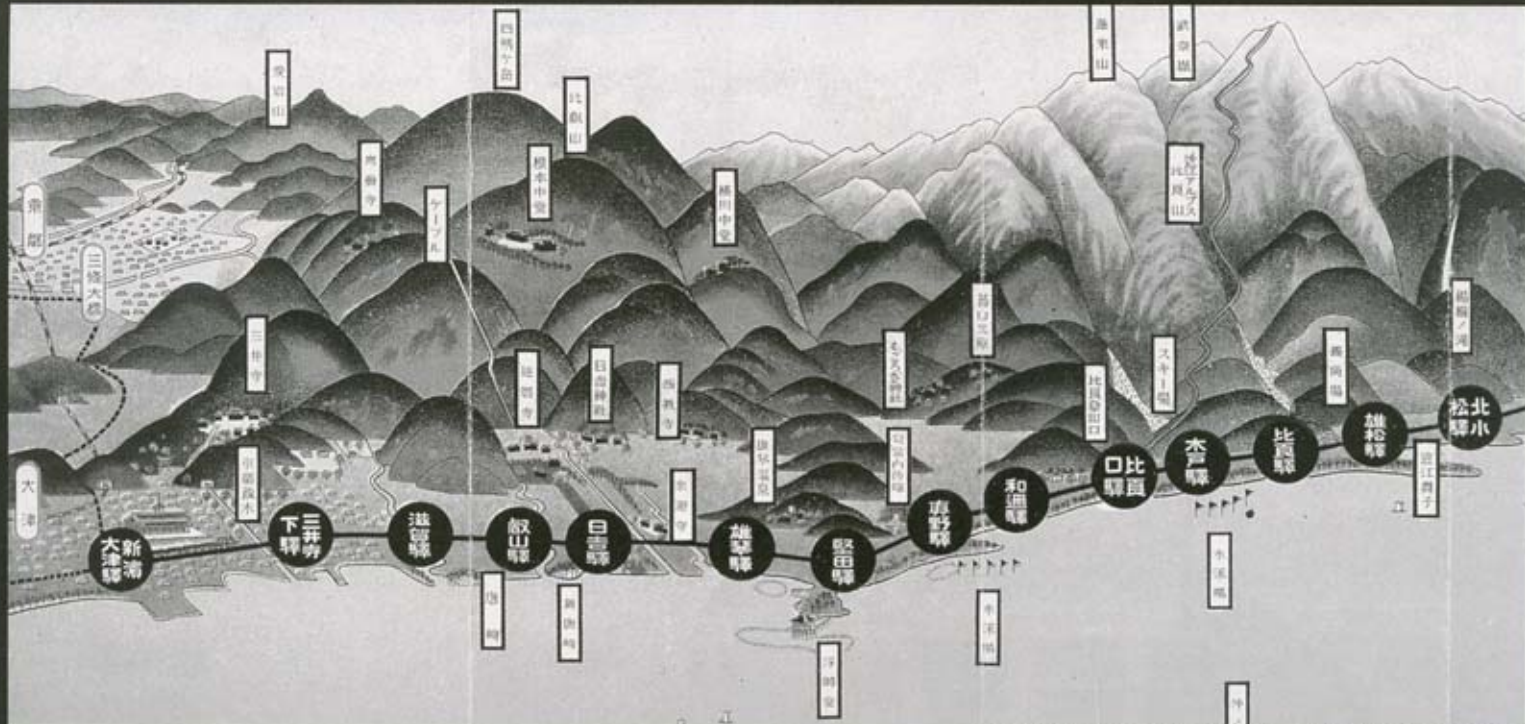
()は15名様以上の団体、大津市内在住の65歳以上の方、
大津市内在住の障害者の方の割引料金

■主催 / 大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館
高島市・高島市教育委員会・京都新聞社

■協力 / 江若交通株式会社・株式会社パルコ大津店



高島町駅付近 昭和44年 福田静二氏撮影



江若鉄道株式会社沿線案内(部分) 昭和3年頃 貴志武生氏 蔵

「江若鉄道」と聞いて、当時の姿をイメージできる方は、おそらく40代以上の方でしょう。江若鉄道は、近江と若狭をつなぐという意味から、それぞれの一字をとって、その名が付けられました。大正10年(1921)に三井寺下-叡山間が、昭和6年(1931)には浜大津-今津間が開通しましたが、若狭までの延伸は実現することなく、昭和44年に廃線、同49年に開業した国鉄(JR)湖西線にその役割を譲り、約50年の歴史を終えました。運行当時の江若鉄道は、浜大津-今津間51キロを約1時間半で結んでいました。現在、湖西線西大津-今津間の所要時間が約40分ですから、約2倍の時間がかかっていたことになります。しかし、江若鉄道が出来るまで、湖西へは汽船であれば半日かかっていたため、この開通は大きな進歩でした。江若の開通にあたり、沿線住民は費用を出して株主となり、敷設を実現させましたが、そうしたエピソードが残るほど、江若鉄道の開通は宿願だったのです。

廃線から37年、今では当時の痕跡はほとんど失われてしまいました。展覧会では、江若鉄道の運行時の様子を伝える写真をはじめ、沿線パンフレットなどの様々な資料から、湖西の鉄道の歴史をたどると同時に、沿線の様子の再現を試みる展覧会です。

< 展覧会の見どころ >

- ◎浜大津-近江今津間26駅51キロを豊富な写真で再現します。
- ◎13メートルの江若鉄道レイアウトが会場内に出現。会場内を走ります。
- ◎江若鉄道のありし日の映像を大画面で上映します。



大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2番2号 電話077-521-2100
ホームページアドレス <http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>